

平成30年度 倉吉スターガーデン ケアハウス 事業計画

事業所名	倉吉スターガーデン ケアハウス		
施設長	石賀 康 丈		
実施事業	軽費老人ホーム		
開設年月日	平成6年4月1日		
所在地	鳥取県倉吉市福守町491		
正規職員数	2名		
臨時職員	7名		
パート職員	2名		
定員	26名	目標利用者数26名/日	利用率 100%
職員配置	施設長1名・生活相談員1名・介護職員1名・事務員1名 栄養士1名・調理員3名・宿直員2名・清掃職員1名 計11名		

1 基本方針

ご利用者様が、プライバシーが尊重された環境のもと、健康で心豊かに自主的な生活を送ることが出来るよう支援します。

高齢者向きの施設、食事、入浴施設などの基本サービスや、外出支援、楽しみの場を提供。日常の自主的な活動のための諸サービスを提供します。関係施設、事業所との連携を図ることにより、ゆとりのある自立生活を維持していただけるように支援します。

2 運 営

法人基本理念を行動規範として全職員が以下の目標をもって事業活動を行います。

- (1) 『思いやり』と『感謝（おかげさま）の心』を持って、ご利用者様やご家族様及び私たち職員が幸せを感じることでできる施設づくりに注力して取り組みます。
- (2) ご利用者様、ご家族様、地域の皆様から信頼される施設を目指します。
- (3) ご利用者様本位の接遇、職員間の良好なコミュニケーションを施設運営の心得とし、親切丁寧なサービスを提供します。
- (4) ご利用者様への支援 ～重点実施事項～
 - ① ご利用者様が安心して気持ち良く生活していただける様、住みよい住居を提供します。
 - ② ご利用者様の自主性の尊重を基本として、ご利用者様が明るく心豊かな生活ができるよう、ご利用者様の意見を聞きながら環境整備を図ります。
 - ③ ご利用者様のプライバシーを配慮し、相談、助言等の援助を行います。
 - ④ ご利用者様の健康状態などを配慮しながら栄養士が献立を作成し栄養バランスの取れた食事の提供を行うと共に、ご利用者様同士が楽しく食事できるような雰囲気作りに努めます。
 - ⑤ ご利用者様が楽しく生活を過ごせる様に、ご利用者様主体の活動を職員一同と協力し行います。
 - ⑥ 『笑顔と喜び』
私たち職員は、感謝を言葉に表し、皆様に笑顔と喜びを提供します。

⑦『思いを支えてこそ介護』

お一人おひとりの「思い」に耳を傾け、ご利用者様の主体的な暮らし、そして自己実現を支援します。

- (5) 業務改善を推進し、広く職員の意見を取り入れ、改善提案を基に業務の効率化と負担の軽減及びに軽費削減に努めます。
- (6) 社会資源である施設の有効活用及びに長期的に安定した事業基盤を確立するため、定員充足率 100%を目指します。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

- ①プレハブ倉庫設置事業 500千円
- ②食堂テーブル取替整備事業 356千円

(2) 事業活動

①ご利用者様の施設生活がより活性化する事業

施設において自立した日常生活を送るためには、多様な自立支援サービス、健康づくりと閉じこもり予防・重度化防止の推進や良質な住まいなどが求められることから、ご利用者様一人ひとりの状態やニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

- ・異世代交流事業（高校生交流会）：月1回、施設サービス計画の見直し：年2回
- ・臨床美術士による臨床美術（クリニカルアート）：月2回
- ・座談会の実施：月1回、買物外出実施：月2回、昼食外出：月1回
- ・カラオケの実施：月1回、映画鑑賞会の実施：月1回、ラジオ体操：毎日

②食事を楽しむ ～日本全国味めぐり～ 事業

毎月19日は「食育の日」にちなんで、日本全国の郷土料理や名物・特産品を使った、季節に合った料理を時にご利用者様と一緒に作り、会食を実施します。

- ・日本全国味めぐり：毎月19日、昼食会：月1回

③利用者様ミニ講座の実施事業

外部、内部の専門職による、『リハビリ』『認知症予防』『栄養指導』『感染症予防』『防災』『交通安全』の講習会を年6回、計画的に開催します。

4 安全管理・衛生管理

- (1) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。
- (2) ご利用者様が安全かつ安心して生活していただけるよう、ヒヤリハットの実践などリスクマネジメントを行い、事故防止に努めます。
- (3) 施設の設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンスを徹底し環境整備に努めます。

5 防火・防災、救助活動

防災計画及び災害対応マニュアルに則り、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者が中心となり、ご利用者様の実態に即した防災訓練（年2回）の計画・実施を行います。

- (2) 消防用設備（スプリンクラー設備、自動火災報知設備、防火扉等）の定期的な点検を実施し、万一の災害時に被害を最小限にとどめます。
- (3) 安全、快適な環境を提供するため、災害時の対応について職場内研修を定期的に行います。
- (4) 地震、風水害等の災害が発生した場合に、避難所での生活の継続が困難な高齢者（要援護高齢者）を、施設内で受入れを行います。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修への参加

- ①高齢者介護研修・初任研修等を通じ、キャリアアップ研修等を通じ、自己研鑽を促します。
- ②介護専門職研修を通じ、介護技術の習得に努めます。
- ③実務経験の少ない職員に対しレベルアップを目的に、介護技術・知識習得等の施設外研修会への参加を積極的に行います。

(2) 法人内部研修への参加

研修内容に応じた関係職員を積極的に参加させキャリアアップを図ります。

(3) 施設内の OJT・職場研修の実施

全職員及び新人職員の資質向上を目指し、OJT を行う体制の整備を強化すると共に、各委員会及び各専門職による年間計画に基づいた施設内研修会を開催します。

(4) 職員の資格取得のための取組み

法人が定めた「国家資格等所得者に対する助成要領」による資格所得に対する助成制度を活用し、職員の資格所得意欲の増進とキャリアアップを促進します。

(5) 福祉専門分野の研鑽と資質の向上を目的とし事例研究に取り組みます。

取組課題：年1題

事例発表：社会福祉法人みのり福祉会　高齢者福祉専門部会　事例発表会
鳥取県福祉研究学会（鳥取県社会福祉協議会）研究発表会

7 各種団体との連携と地域交流

地域社会との共生を図り、地域福祉への貢献を目指します。

(1) 広報誌の発行・配布

施設機能及び役割を広く地域の皆様へPRし、交流の懸け橋となることを目的に広報誌「倉吉スターガーデン便り」を発行し地域に配布します。

発行回数：年4回

配布先：倉吉市内の地域包括支援センター・居宅介護事業所・病院の地域連携室・近隣地区公民館・近隣自治公民館長及び民生児童委員

(2) 地域交流行事・地域との連携強化

①地域に貢献する施設として連携及び交流を図ることを目的に地域交流行事を開催します。

開催回数：年4回

実施内容：4月 創立記念式典、8月 福祉の里まつり、9月 敬老祝賀会
11月 福祉の里文化祭

②施設の専門機能を地域へ還元することを目的に専門職の地域派遣を行います。

派遣回数：年2回以上

実施内容：地域サロン講習会へ栄養士を派遣

小学生への認知症理解の絵本教室事業へ社会福祉主事を派遣

③法人各施設で行なっている地域での文化活動を推進します。

④ボランティア活動等の受入を積極的に行い、ご利用者様と地域社会との連携強化に努めます。

⑤地域福祉の推進を目的とし、高校生ボランティア活動・中高生介護の仕事体験・中学生ボランティアスクール・職場体験学習・実務者研修の実習等を積極的に受け入れ学習や活動の場を提供します。

8 年間行事等

別紙のとおり